

## 資料目次

資料 1	教学 IR データに見る教育の状況(学生の修得感)	P. 2
資料 2	熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査結果報告書 【高校向け調査編】	P. 3
資料 3	崇城大学、東海大学の志願動向調査	P. 22
資料 4	各都道府県高卒者の大学進学先(自県・域内・東京圏・その他)	P. 23
資料 5	熊本大学県別・地区別入学者状況	P. 24
資料 6	熊本大学学部入学定員充足状況	P. 25
資料 7	2040 年の 18 歳人口減少率、進学者数減少率、各都道府県内大学への入学者数 減少率(2017 年と比較)	P. 26
資料 8	2040 年の入学定員充足率(各都道府県の国立大学の平均を比較)	P. 27
資料 9	長崎大学、広島大学、和歌山大学の入学志願状況等	P. 28
資料 10	熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査結果報告書 【企業・団体向け調査】	P. 29

# 教学IRデータに見る教育の状況(学生の修得感)

卒業予定者アンケート調査 <学生生活で身についた力>

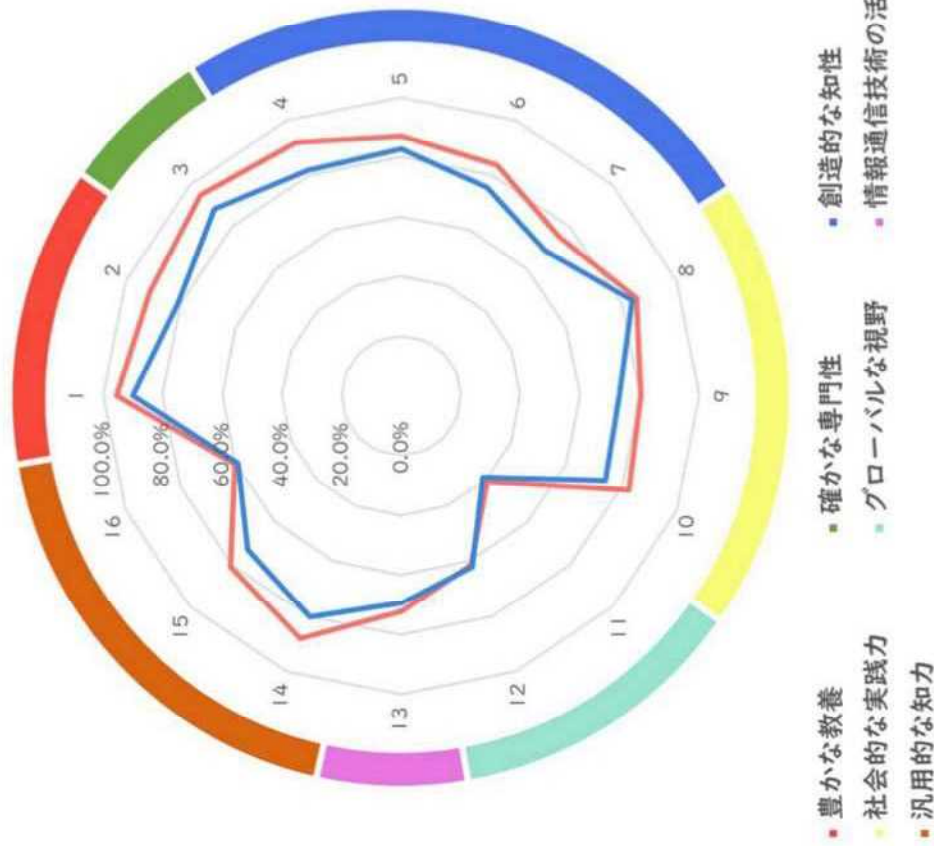
**Q5. あなたは次のような力が、今までの学生生活を体験されて、どの程度身についたと思えますか。各項目についてあてはまる番号を選択してください。**

A: 1.身についた、2.やや身についた、3.あまり身につかなかった、4.身につかなかった

※修得感合計: 「身についた」および「やや身についた」の割合の合計

項目	修得感合計 (上位1/2の学生)	修得感合計 (下位1/2の学生)	差
GPA (各学部上位1/2の学生) : 261名、(各学部下位1/2の学生) : 254名			
修得感合計			
(上位1/2の学生)	95.4%	90.2%	5.2%
(下位1/2の学生)	91.2%	81.1%	10.1%
1) 幅広い知識、もの見方	95.4%	90.2%	5.2%
2) 主体的に学習する態度	91.2%	81.1%	10.1%
3) 専門分野に関する知識・理解	95.4%	88.6%	6.8%
4) 問題を見つけ、解決方法を考える力	92.0%	81.9%	10.1%
5) 多様な人々と協働する力	87.0%	82.7%	4.3%
6) 自分の意見を論理的に発表する力	83.9%	75.6%	8.3%
7) ディスカッションする力	75.1%	68.5%	6.6%
8) 社会に対する幅広い関心	85.4%	83.9%	1.6%
9) 人に分かりやすく話す力	80.5%	73.2%	7.2%
10) ものごとを批判的に考える力	82.8%	74.0%	8.7%
11) 外国語を使う力	41.0%	38.6%	2.4%
12) 異なる文化に関する知識・理解	61.3%	61.8%	0.5%
13) 情報通信技術を活用する力	72.4%	69.7%	2.7%
14) 文献・資料・データを収集・分析する力	88.1%	80.3%	7.8%
15) 論理的に文章を書く力	80.8%	72.8%	8.0%
16) 統計数理の知識・技能	60.5%	59.1%	1.5%

— GPAが上位1/2の学生 — GPAが下位1/2の学生



国立大学法人熊本大学 御中

## 一部抜粋

# 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関する アンケート調査結果報告書 【高校向け調査編】

2023年1月31日

株式会社日経BPコンサルティング

# 1. 目次

---

1. 目次	.....	1
2. 調査概要	.....	2
3. 調査項目	.....	3
4. 報告書の記載について	.....	4
5. 調査結果のまとめ	.....	5
6. 調査結果データ	.....	14
調査回答者属性	.....	15
興味関心のある学問領域	.....	16
進学希望地域／大学選定時の重視点	.....	17
新教育組織への興味度【情報融合学環(仮称)】	.....	18
新教育組織への興味度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	.....	19
新教育組織・コース特徴への魅力度【情報融合学環(仮称)】	.....	20
新教育組織の特徴への魅力度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	.....	27
受験意向／受験したくない理由	.....	32
付. 巻末資料	.....	37

## 2. 調査概要

---

### 調査目的

熊本大学に設置予定の新教育組織(【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】)に対する高校生の評価や受験意向を把握し、新教育組織における学生確保が可能であることを示す客観的根拠データとする。

### 調査手法

郵送留置き法

(高校に協力を依頼し、調査票を一括送付。授業などにおいて生徒が回答し、回答票は一括で回収する)

※事前架電による調査協力承諾確認を実施

### 調査対象

高校2年生生徒

調査地域(都道府県):北海道、青森県、千葉県、東京都、静岡県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

### 協力依頼数

98校:22,412件 ※架電確認により協力承諾を得た高校数と聴取した2年生生徒数

### 有効回答数

回収済み高校数:83校(回収率84.7%)

有効票数:15,909件 ※問1以降が無記入の場合は無効票として対象外とした。  
(回収率:71.0%)

### 調査期間

2022年11月30日～2023年1月12日

### 調査実施・運営機関

株式会社日経BPコンサルティング 大学ブランド・デザインセンター

### 3. 調査項目

---

#### 質問項目一覧

基本属性			
No,	質問項目	回答方式	回答者
1	居住都道府県	単一回答	全員
2	性別	単一回答	全員
3	学年	単一回答	全員
4	在籍学科	単一回答	全員

進路について			
5	第一進路希望	単一回答	全員
6	興味・関心のある学問領域	複数回答	進学希望者
7	進学希望地域	単一回答	進学希望者
8	受験大学選択時重視点	複数回答	進学希望者

新教育組織（学環・課程）について			
9	新教育組織への興味度〈4段階〉※資料閲覧後	単一回答 (表形式)	全員
10	情報融合学環・コースの特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
11	半導体デバイス工学課程の特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
12	受験意向（コース・課程）〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
13	受験非意向の理由	複数回答	非意向者

## 4. 報告書の記載について

---

### ■ 報告書の記載について

- 特に記載がない限り、数値はサンプル数(n)を分母としたパーセント表記とする。
- 比率の分母となるベースは、特に記載がなければ、「回収全体」となる。その他、条件がある場合は注釈で記載する。(「〇〇ベース」など)
- 分析軸(クロス集計)の【求める学問系統】については、下記のように分類し集計をおこなった。  
※複数回答のため、分析軸のnは重複がある。

文系	文学・語学、法・政治学、経済・経営・商学、社会・社会科学、国際関係学、教育学
理系	数学・物理学、化学・生物学、情報科学、機械・電機・電子通信工学、情報工学 建築・土木・環境工学、素材・材料工学、工芸・工業デザイン、農・水産学
工学系	機械・電機・電子通信工学、情報工学、建築・土木・環境工学、素材・材料工学 工芸・工業デザイン
文系	「その他」のみ選択者

## 5. 調査結果のまとめ

---



# 調査結果のまとめ

---

## 進路希望

- 調査に回答した15,909人の高校2年生のうち、62.7%が「国立大学」を第一希望(単一回答)にあげている。「私立大学」は14.6%、「公立大学」が10.3%となっており、高校2年生の段階では「国立大学」志望が圧倒的に多いことがわかる。
- 高校2年生の87.6%が、「国立大学」「公立大学」「私立大学」を含めた4年生大学を進路の第一希望としている。(4年生大学への進学希望者)

## 興味・関心のある学問領域

- 「国立大学」「公立大学」「私立大学」を含めた4年生大学への進学希望者に、興味・関心のある学問領域を複数回答でたずねたところ、「経済・経営・商学」が19.5%で最も多かった。以降、「医・歯・薬学」が18.0%、「文学・語学」が17.5%、「教育学」が17.1%、「看護・保健学」が15.3%と続き、回答が様々な学問領域に分散している。
- 理系、工学系の学問領域では、「情報工学」が12.5%で6番目、「機械・電機・電子通信工学」が11.6%で8番目、「化学・生物学」が10.6%で9番目となっている。(17の学問領域を選択肢として提示した。「その他」は8.2%だった。)

## 進学希望地域

- 4年生大学への進学希望者に、進学希望地域をたずねたところ、「九州」が53.3%と最多となっている。ただし、回答者の8割以上が九州在住者であることを留意したい。次いで、「関東・甲信越」が12.8%、「近畿」が8.0%、「中国(地域)」が5.2%となっており、関東方面への進学希望も多いことがわかる。

## 受験大学選定重視点

- 4年生大学への進学希望者に、受験大学を選ぶ際に重視する点をたずねたところ、「魅力的な学部・学科がある」が69.2%と最も高く、「就職率が高い」が36.5%、「学力偏差値が高い」が27.3%、「希望する就職先への就職実績がある」が27.0%と続く。「魅力的な学部・学科がある」が約7割に対して、2番目の「就職率が高い」が3割台半ばとなっており、学部・学科の魅力が受験大学選定に大きく影響することがわかる。

# 調査結果のまとめ

---

## ■ 新教育組織への興味度

高校2年生全体の新教育組織への興味度では、【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】のいずれも、「興味を湧いた計」で3割台となっている。

「国立大学」進学希望者に限定すると、いずれの新組織も4割台と上昇し、興味のある学問領域が「工学系」選択者では6割台まで上昇する。

- 熊本大学が設置を計画している【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】それぞれについて興味度をたずねた。高校2年生全体では【情報融合学環(仮称)】に「興味を湧いた」が7.5%、「少し興味を湧いた」が31.3%となっており、4割弱が興味を示している。【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】では、「興味を湧いた」が7.3%、「少し興味を湧いた」が28.6%となっており、興味を示した高校2年生は3割台半ばに留まる。
- <性別>いずれの新組織についても「男性」の興味度が高く、「興味を湧いた計(「興味を湧いた」「少し興味を湧いた」の合算)」が4割台後半となっている。
- <進路希望別>いずれの新組織についても「国立大学」進学希望者の興味度が最も高く、「興味を湧いた計」が4割を超える。
- <興味のある学問領域>「工学系」選択者において、いずれの新組織についても「興味を湧いた計」が6割を超えており、非常に興味度が高い。「理系」選択者においても5割台半ばとなっている。「文系」選択者では、【情報融合学環(仮称)】への「興味を湧いた計」が34.6%に対して、【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】では26.5%に留まる。
- <進学希望地域別>「九州」希望者では、いずれの新組織についても「興味を湧いた計」が4割程度となっており、他地域への進学希望者よりも興味度が高い。

# 調査結果のまとめ

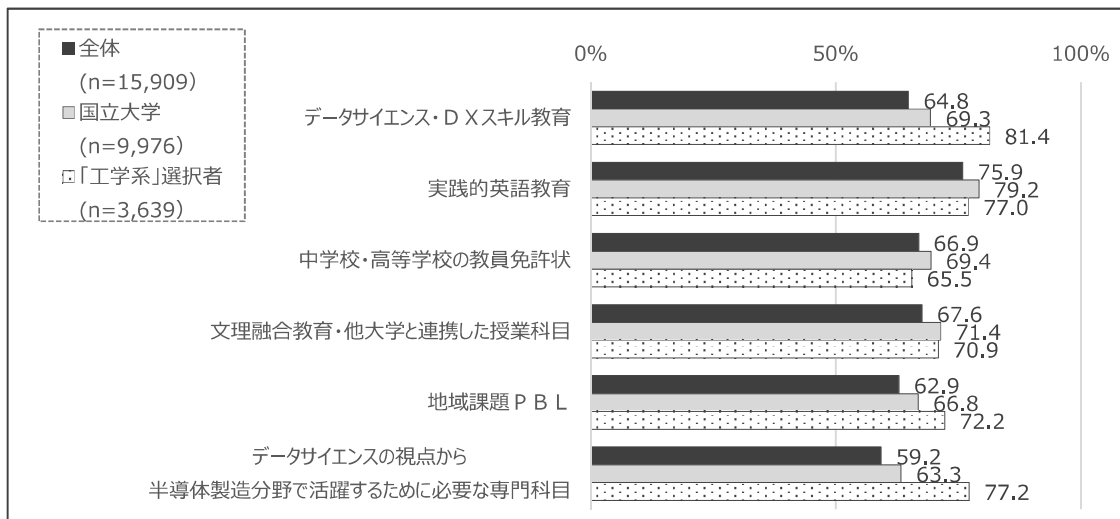
## 新教育組織・コースの特徴への魅力度【情報融合学環(仮称)】

【情報融合学環(仮称)】の組織の特徴に対する魅力度では、「実践的英語教育」の魅力度が最も高い。以降、「文理融合教育・他大学と連携した授業科目」、「中学校・高等学校の教員免許状」、「データサイエンス・DX スキル教育」の順。

【DS総合コース(仮称)】の「地域課題PBL」については6割程度、【DS半導体コース(仮称)】「データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目」については6割弱の魅力度となっている。

- ・【情報融合学環(仮称)】の組織と、「DS総合コース」「DS半導体コース」の特徴に対する魅力度をたずねた。
- ・組織については、「実践的英語教育」の「魅力的計(「魅力的」「まあ魅力的」の合算)」が75.9%と最も高い。次いで「文理融合教育・他大学と連携した授業科目」が67.6%、「中学校・高等学校の教員免許状」が66.9%、「データサイエンス・DX スキル教育」が64.8%となっている。
- ・【DS総合コース(仮称)】の「地域課題PBL」については、魅力的計が62.9%となっている。
- ・【DS半導体コース(仮称)】「データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目」については、魅力的計が59.2%となっている。
- ・興味度の高かった「工学系」選択者では、「データサイエンス・DX スキル教育(81.4%)」「データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目(77.2%)」「地域課題PBL(72.2%)」の魅力度が全体に比べ高く、魅力を感じる特徴が全体の傾向と異なる。
- ・「国立大学」進学希望者では、「実践的英語教育」「文理融合教育・他大学と連携した授業科目」「中学校・高等学校の教員免許状」に対する魅力度が高い。

■ 図. 各特徴に対する「魅力的計(「魅力的」「まあ魅力的」の合算)」の回答率



# 調査結果のまとめ

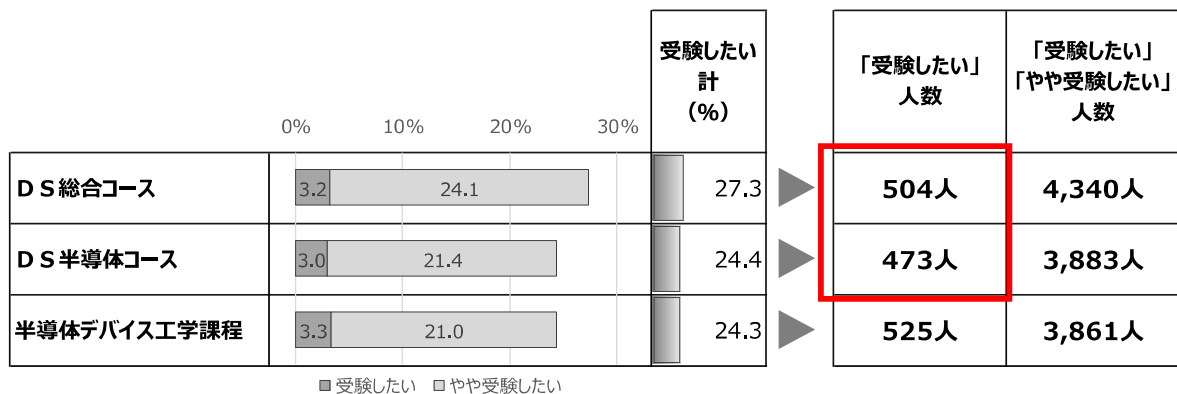
## ■ 受験意向

【DS総合コース(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.2%(504人)。入学定員(40名)の10倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は27.3%(4,340人)となっており、入学定員(40名)の100倍以上となっている。

【DS半導体コース(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.0%(473人)。入学定員(20名)の20倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は24.4%(3,883人)となっており、入学定員(20名)の180倍以上となっている。

【半導体デバイス工学課程(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.3%(525人)。入学定員(20名)の25倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は24.3%(3,861人)となっており、入学定員(20名)の180倍以上となっている。

■ 図. コース・課程別受験意向と意向者人数  
(n=15,909)



# 調査結果のまとめ

---

## ■ 受験意向

- 熊本大学が設置を計画している新教育組織(「情報融合学環」と工学部内に「半導体デバイス工学課程」)のコースと課程について、どの程度受験したいかをたずねた。

### 【DS総合コース(仮称)】について

- 【DS総合コース(仮称)】では、3.2%が「受験したい」、24.1%が「やや受験したい」と回答しており、4,340人が受験する可能性がある。
- 【DS総合コース(仮称)】については、興味のある学問領域が「工学系」選択者の受験意向率が最も高く、「受験したい」が6.7%、「やや受験したい」が42.0%となっており、半数近くが受験意向を示している。
- <性別>「男性」の「受験したい計(「受験したい」「やや受験したい」の合算)」は36.4%、一方「女性」では18.7%となっており、「男性」の受験意向率が高い。
- <進路希望別>「国立大学」進学希望者の「受験したい計」は31.4%。「公立大学(21.7%)」「私立大学(17.9%)」希望者と大きく差が開いている。
- <興味のある学問領域>「工学系」選択者の「受験したい」が6.7%と最も高い。「やや受験したい」の42.0%を含めた「受験したい計」は48.6%となっており、「工学系」に興味のある高校2年生の半数程度が受験意向を示している。また、「文系」選択者では、「受験したい」が3.1%、「やや受験したい」が19.4%となっており、「受験したい計」は2割強となっている。
- <進学希望地域別>「九州」への進学希望者の「受験したい計」が29.9%で最も高かった。次いで「関東・甲信越」進学希望者で23.9%、「中国・四国」進学希望者で23.2%となっている。

# 調査結果のまとめ

---

## ■ 受験意向

### 【DS半導体コース(仮称)】について

- 【DS半導体コース(仮称)】では、3.0%が「受験したい」、21.4%が「やや受験したい」と回答しており、3,883人が受験をする可能性がある。
- 【DS半導体コース(仮称)】については、興味のある学問領域で「工学系」選択者の受験意向率が最も高く、「受験したい」が7.3%、「やや受験したい」が40.6%となっており、半数近くが受験意向を示している。
- <性別>「男性」の「受験したい計(「受験したい」「やや受験したい」の合算)」は34.8%、一方「女性」では14.8%となっており、「男性」の受験意向率が高い。
- <進路希望別>「国立大学」進学希望者の「受験したい計」が28.4%、「公立大学(17.6%)」「私立大学(15.2%)」希望者と大きく差が開いている。
- <興味のある学問領域>「工学系」選択者の「受験したい」が7.3%と最も高い。「やや受験したい」の40.6%を含めた「受験したい計」は47.9%となっており、「工学系」に興味のある高校2年生の半数程度が受験意向を示している。
- <進学希望地域別>「九州」への進学希望者の「受験したい計」が26.8%で最も高かった。次いで「関東・甲信越」進学希望者で20.8%、「中国・四国」進学希望者で20.0%となっている。

## 付. 卷末資料

---

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

ID: \_\_\_\_\_

©2023258C\_熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査

### 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査

熊本大学では2024年4月に学部相当の新教育組織「情報融合学環(教務)」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程(教務)」の設置を計画しています。このアンケートでは、高校生のみさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどについてお聞きします。熊本大学の教育をより充実したものとするための参考資料とさせていただきます。アンケートで得られた情報については、統計的に処理を行い、個人を特定することはありませんのでご安心ください。本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

※「情報融合学環(教務)」及び「半導体デバイス工学課程(教務)」設置構想については、今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

#### 【回答方法】

本アンケートの回答は、質問文(問)をお読みいただき、該当する選択枝の番号に○をご記入いただくか、指定の枠内に記述をお願いします。なお「学環」は「学部」と覚えてください。

■はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F1. 居住都道府県	[ _____ ] 都・道・府・県
F2. 性別	1. 男性    2. 女性    3. その他    4. 答えたくない
F3. 学年	1. 1年生    2. 2年生    3. 3年生
F4. 在籍学科	1. 普通科    2. 理数系学科    3. 国際系学科    4. 工業系学科 5. 総合学科    6. その他の専門学科 [学科名: _____]

■ここからは、進路についておうかがいします。

問1. 高校卒業後の第一希望の進路をお知らせください。(○はひとつ)

- |         |              |            |
|---------|--------------|------------|
| 1. 国立大学 | 4. 短期大学      | 7. その他     |
| 2. 公立大学 | 5. 専門学校・専修学校 | 8. まだわからない |
| 3. 私立大学 | 6. 就職        |            |

【前問で、大学進学を希望している方におうかがいします。】

問2. あなたは、どのような学問領域に興味・関心がありますか。(いくつでも)

- |             |                  |                |
|-------------|------------------|----------------|
| 1. 文学・語学    | 7. 看護・保健学        | 13. 情報工学       |
| 2. 法・政治学    | 8. 医・歯・薬学        | 14. 建築・土木・環境工学 |
| 3. 経済・経営・商学 | 9. 数学・物理学        | 15. 素材・材料工学    |
| 4. 社会・社会科学  | 10. 化学・生物学       | 16. 工芸・工業デザイン  |
| 5. 国際関係学    | 11. 情報科学         | 17. 農・水産学      |
| 6. 教育学      | 12. 機械・電機・電子通信工学 | 18. その他        |



# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

【問1で、大学進学を希望している方におうかがいします。】

問3. 進学希望の地域をお知らせください。(ひとつだけ)

- |           |          |       |             |
|-----------|----------|-------|-------------|
| 1. 北海道    | 4. 北陸・東海 | 7. 四国 | 10. 海外      |
| 2. 東北     | 5. 近畿    | 8. 九州 | 11. まだわからない |
| 3. 関東・甲信越 | 6. 中国    | 9. 沖縄 |             |

【問1で、大学進学を希望している方におうかがいします。】

問4. 受験大学を選ぶ時に重視することはなんですか。(いくつでも)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 有名である            | 8. 交通の便がよい        |
| 2. 歴史伝統がある          | 9. 自宅から通える        |
| 3. 学力偏差値が高い         | 10. 学費が安い         |
| 4. 魅力的な学部・学科がある     | 11. クラブ・サークル活動が盛ん |
| 5. 就職率が高い           | 12. その他           |
| 6. 希望する就職先への就職実績がある | 13. わからない・特になし    |
| 7. 専門性がある           |                   |

■ここからは、熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環（仮称）」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程（仮称）」についておうかがいします。  
※別紙資料をご覧ください、質問にご回答ください。

問5. 資料をご覧になり、熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環（仮称）」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程（仮称）」に対して、進学先としてどの程度興味が湧きましたか。(ひとつだけ)

	興味が湧いた	少し興味が湧いた	あまり 興味が湧かない	興味が湧かない
情報融合学環（仮称）	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス 工学課程（仮称）	1	2	3	4

次のページへ →

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問6. 熊本大学の「情報融合学理(仮称)」では、「DS(データサイエンス)総合コース(仮称)」「DS(データサイエンス)半導体コース(仮称)」の2つのコースを設置する計画です。「情報融合学理(仮称)」とそれぞれのコースの特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

■「情報融合学理(仮称)」の特徴について		魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
A	データサイエンス・DXスキル教育: Society5.0に対応するために必要不可欠なデータサイエンスを含めた情報通信・AIに関連する基礎的な知識とデータを活用するためのスキル修得のためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
B	実践的英語教育: 実践的な英語によるコミュニケーション能力を培うためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
C	中学校・高等学校の教員免許状: 選択により中学校教諭・高等学校教諭「数学」、高等学校教諭「情報」の免許を取得できるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
D	文理融合教育・他大学と連携した授業科目: 法学部等の文系学部科目に加え、熊本大学にはない経営学や農学等に関わる科目を熊本県立大学、東海大学の開講科目から選択できます。データサイエンスを軸とした様々な専門分野を学ぶことができます。	1	2	3	4
■「DS総合コース(仮称)」の特徴について		魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
E	地域課題PBL: 企業や自治体等の実務家教員が担当する科目を開設し、実際のデータを使って、データサイエンススキル等を活用し、社会現場から課題を見つけ出す課題発見力や、分析の結果を現場に浸透させて改善する社会実践力を学びます。	1	2	3	4
■「DS半導体コース(仮称)」の特徴について		魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
F	データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目: 回路開発環境の標準的ソフトウェア環境や、実際の半導体製造プロセスを模した実験実習科目等を含めた実践力を涵養する教育プログラムです。	1	2	3	4

\*PBL = Project Based Learning: 地球課題解決等を通じた探究的な学びの手法

問7. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

■工学部「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について		魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
G	国内で最も充実した半導体教育カリキュラム: 半導体工学の基礎となる数学/物理/化学/材料/機械などの基礎学問を学修した上で半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術等の高度な専門的能力を身につけることができるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
H	日本初の半導体教育に特化した学士課程	1	2	3	4
I	半導体関連企業でのインターンシップ: 熊本地域の半導体関連企業・半導体製造関連(関連製造)企業でのインターンシップ等を実施し、実践力を培います。	1	2	3	4
J	半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習: 産業界のニーズに対応した実践的教育として、企業技術者(実務家教員)によるPBL教育や企業での実際の生産設備を用いた実習を取り入れた教育プログラムです。	1	2	3	4

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 8. 「情報融合学環 (仮称)」の2つのコースと、工学部「半導体デバイス工学課程 (仮称)」について、あなたは受験したいと思いますか。(それぞれひとつだけ)

	受験したい	やや受験したい	あまり受験したくない	受験したくない
DS 総合コース (仮称)	1	2	3	4
DS 半導体コース (仮称)	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程 (仮称)	1	2	3	4

【問 8 で、「あまり受験したくない」「受験したくない」と回答された方におうかがいします。】

問 9. 受験したくないと思う理由をお知らせください。(いくつでも)

1. 熊本大学だから
2. 他大学の学部(学環)の方が魅力的だから
3. 自分は文系志望だから
4. 理系分野だけ学びたいから
5. 半導体や DX に興味がないから
6. 就職先が限られるから
7. そもそも学環が何かよくわからないから
8. 何を学べるのかわからないから
9. 社会で役立つ学問かわからないから
10. カリキュラムが分かりづらいから
11. 数学が苦手だから
12. 英語が苦手だから
13. その他
14. わからない・特になし

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。

# 同封資料

## 同封資料①

**令和6年4月**

挑む、デジタルの最先端へ

紡ぐ、半導体産業の未来を

**創設** 入学定員: 50名

文理融合型で学ぶ  
情報融合学環 (仮称)

**DS 総合コース (仮称)**  
Data Science General course  
コース配属人数(1年次から): 40名\*

**DS 半導体コース (仮称)**  
Data Science Semiconductor course  
コース配属人数(1年次から): 20名\*

※1年次より2年次以降の科目を履修し、3年次以降に1年次科目を履修する。

Feature

- データサイエンスを基盤とした文理融合型の学び
- 実践的かつ専門的な半導体関連コースと幅広く学べる総合コース
- 地域社会および国内外の研究機関や企業との立体的な連携

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>

School of Informatics  
情報融合学環で身に付く力

**DS総合コース (仮称)**  
Data Science General course  
人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを総合的に学ぶことで、社会の幅広い応用課題に対応できる力が身に付く

**DS半導体コース (仮称)**  
Data Science Semiconductor course  
基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体を含む製造プロセス課題に対応できる力が身に付く

実践的な英語科目、プレゼンテーション、アントレプレナーシップ、文理融合科目を学ぶことで、国際社会で活躍できる力が身に付く

取得可能な資格: 中学校教諭一種免許(数学)、高等学校教諭一種免許(数学・物理・化学・生物・地学)、ITパスポート試験  
取得可能な資格: 中学校教諭一種免許(数学)、高等学校教諭一種免許(数学・物理・化学・生物・地学)、ITパスポート試験

担当の進: 金野博樹、佐藤隆雄、山田隆志、渡辺洋一、山田隆志、渡辺洋一、山田隆志、渡辺洋一  
担当の進: 金野博樹、佐藤隆雄、山田隆志、渡辺洋一、山田隆志、渡辺洋一、山田隆志、渡辺洋一

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
DS半導体コース (仮称)			半導体関連科目	
DS総合コース (仮称)			学際融合科目 (英語、データサイエンス/人間関係科目)	
			情報科学関連科目	
			社会科学関連科目	

※各コースの履修科目は履修科目表(履修要項)を参照してください。

入試日程

	入学希望者受付期間	学生募集情報公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜(前期)				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜(後期)	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜II (2年次入学コース)等				令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)

※入学希望者受付期間は、入学希望者募集要項を参照してください。

熊本大学 新教育組織(学士課程) 設置準備室  
TEL: 096-342-2031  
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>

## 同封資料②

くまもとから世界へ半導体の未来を切り拓く

**令和6年4月**

**工学部 半導体デバイス工学課程 創設** (仮称)  
入学定員: 20名

Feature

半導体教育に特化したカリキュラム

Point 1: 半導体工学の基礎を学ぶことで、半導体デバイスプロセスや半導体材料の知識、デバイス開発技術などの高度な専門性を高める

Point 2: 設備は、最先端の半導体研究を行っている産院に加え、企業の一線で活躍中の研究者が指導や授業を行う。インターンシップなど、企業との連携による実践的な科目が豊富

Point 3: 社会的要請の高い半導体関連分野において、世界で活躍するための英語運用能力とコミュニケーション能力を高めるプログラムを用意

<https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/>

Faculty of Engineering

工学部 半導体デバイス工学課程の強み

教育の概要: 半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する総合力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な物理・化学・電子・材料・異種公との連携を重視した少人数制の教育を重視した教育プログラムとする。さらに、他 3 半導体企業と連携して実務教員を雇用し、OJT・PBL(問題解決型)教育を積極的に取り入れた教育プログラムを構築する

育成する人材: 半導体デバイス製造の前工程から後工程に至る製造過程における基礎的な専門知識を備え、半導体デバイスの製造・評価・開発に関わる人材へ

・大規模集積回路(LSI)向け設計/システム設計エンジニア  
・半導体デバイスプロセスエンジニア など

入試

1年次入学 (仮称) 特別選抜及び一般選抜の実施を検討中

入試日程

	入学希望者受付期間	学生募集情報公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜(前期)				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜(後期)	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜II (2年次入学コース)等				令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)

※入学希望者受付期間は、入学希望者募集要項を参照してください。

熊本大学 自然科学系素数専攻 工学部教務担当  
TEL: 096-342-3522  
<https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/>

## 同封資料③

令和6年  
4月

# Change & Charge

熊本大学

紡ぐ、半導体産業の未来を  
挑む、デジタルの最先端へ

くまもとから世界へ  
半導体の未来を切り拓く

文壇融合の学部連携組織

## 情報融合 学環 (仮称)

入学定員: 60名

文理融合、実践的教育、  
学内連携、地域連携、  
大学間連携によるDX、  
数値・データサイエンス人材を  
育成します

DS総合コース(仮称) コース編入(2024年度)140名\*  
人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを総合的に学ぶことで、社会の幅広いDX課題に対応できる力を育成

DS半導体コース(仮称) コース編入(2024年度)100名\*  
基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体をまわす製造DX課題に対応できる力を育成

\*1: 令和6年度コース編入枠を指し、  
2: 令和6年度DX人材育成枠を指す。

工学部4学科横断の新組織

## 工学部 半導体デバイス 工学課程 (仮称)

入学定員: 30名

半導体デバイスの製造過程における  
基礎的専門知識を備え、  
半導体デバイスの  
製造・評価・開発に携われる  
人材を育成します

半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する俯瞰力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な基礎学習・「工学リベラルアーツ」の修得を重視したカリキュラムを実施。さらに、地元半導体企業と連携して実務家教員を雇用し、OJT/FBL教育を積極的に取り入れた教育プログラムを提供

将来の道

データサイエンティスト
半導体関連エンジニア

※「情報融合学環(仮称)」及び「工学部半導体デバイス工学課程(仮称)工学課程(仮称)」については、文理融合型で工学部・半導体工学部との協力を要する予定です。詳細は募集要項によって異なります。



**熊本大学**  
Kumamoto University



<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>

## 崇城大学 情報学部（熊本市）の志願動向調査

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年平均	入学定員に対する 志願者数の比率
入学定員	130	130	130	130	
志願者数	1,012	1,005	843	953	7.3
入学者数	148	156	155	153	

## 東海大学 文理融合学部（熊本市）の志願動向調査

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年平均	入学定員に対する 志願者数の比率
入学定員			300	300	
志願者数			933	933	3.1
入学者数			337	337	

出典：各大学HP



# 国立大学の役割・規模を検討するための参考データ

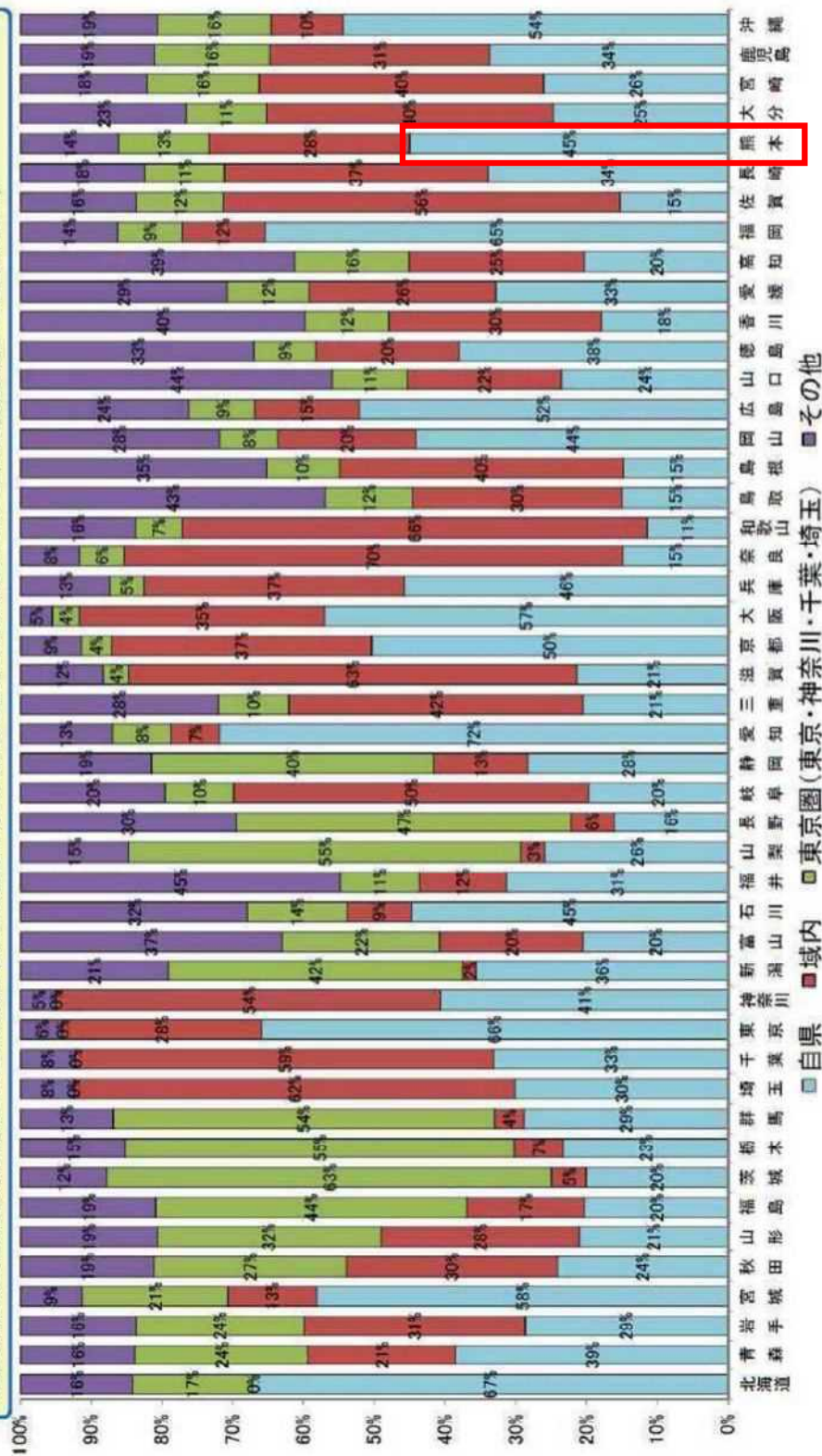
学部  
地域特性

・ 大学進学者収容力の小さい県では、自県内進学者の率が低い傾向がある

(データ出典：文部科学省「高等教育の将来構想に関する参考資料」2018年3月)

## 各都道府県高卒者の大学進学先(自県・域内・東京圏・その他)

○東京圏の大学には東京圏をはじめとする東日本からの進学が多い。また、地域ブロックの中心となる県への進学が多い。



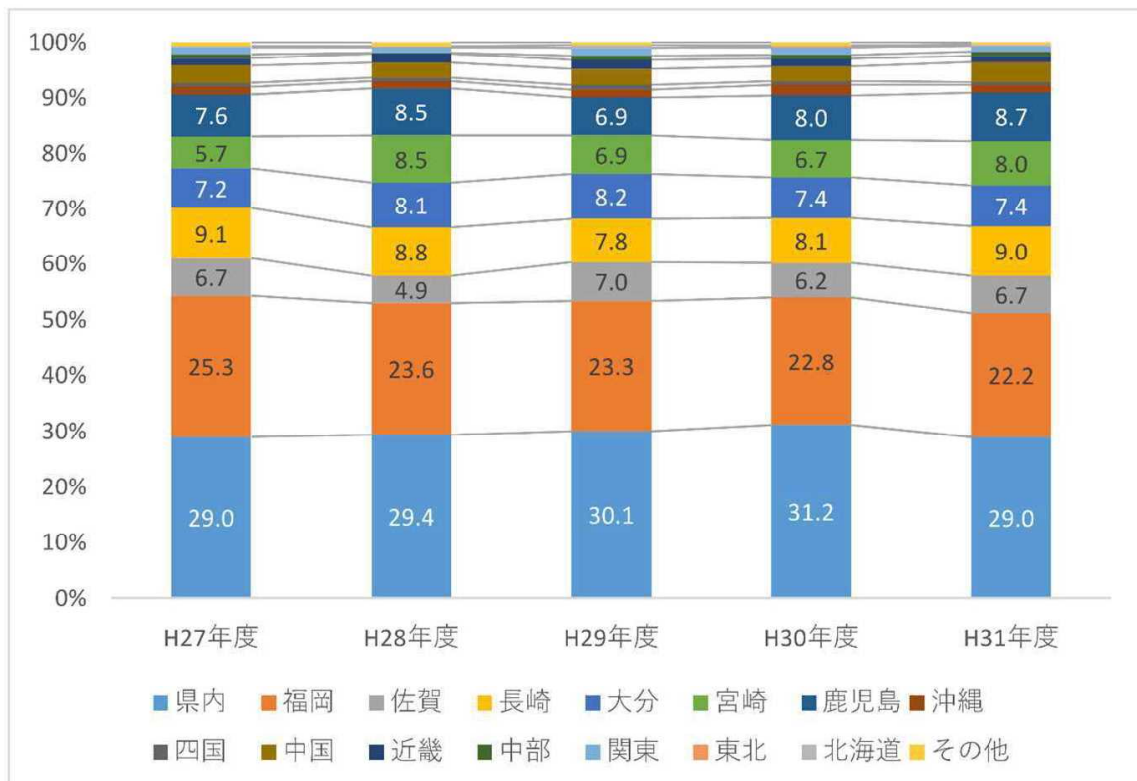
※地域区分：北海道、東北、関東(東京圏除く)、東京圏、甲信越、北陸、東海、近畿、中国四国、九州

出典：文部科学省「学校基本統計(平成29年度)」

## 熊本大学県別・地区別入学者状況

(単位：%)

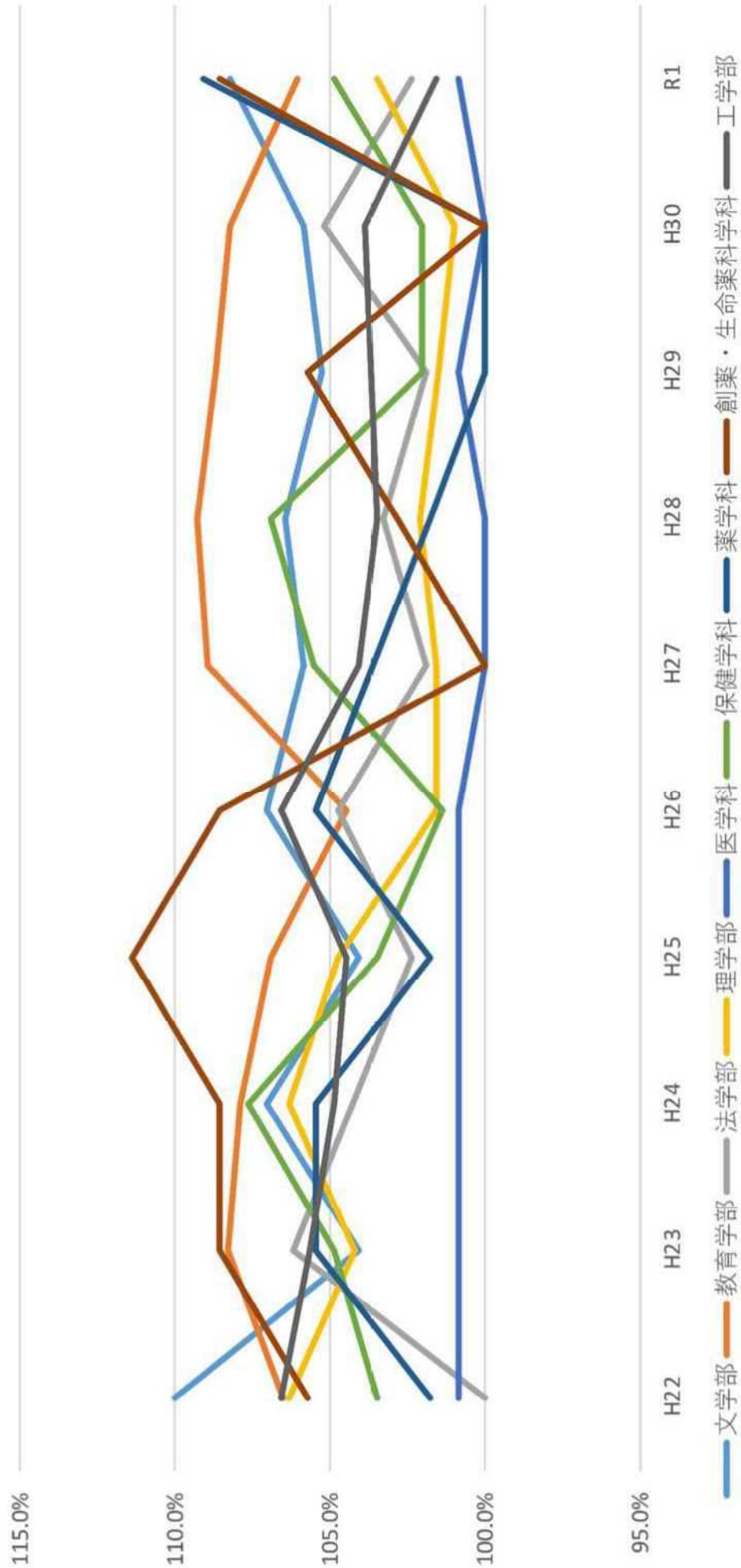
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
県内	29.0	29.4	30.1	31.2	29.0	63.4
福岡	25.3	23.6	23.3	22.8	22.2	
佐賀	6.7	4.9	7.0	6.2	6.7	
長崎	9.1	8.8	7.8	8.1	9.0	
大分	7.2	8.1	8.2	7.4	7.4	
宮崎	5.7	8.5	6.9	6.7	8.0	
鹿児島	7.6	8.5	6.9	8.0	8.7	
沖縄	1.4	1.3	1.4	1.9	1.4	
四国	0.7	0.6	0.8	0.7	0.5	7.7
中国	3.1	2.7	2.9	2.6	3.6	
近畿	1.3	1.6	1.6	1.4	1.1	
中部	0.7	0.2	0.8	0.7	0.8	
関東	1.3	1.0	1.4	1.4	1.0	
東北	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	
北海道	0.2	0.1	0.5	0.1	0.2	
その他	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	



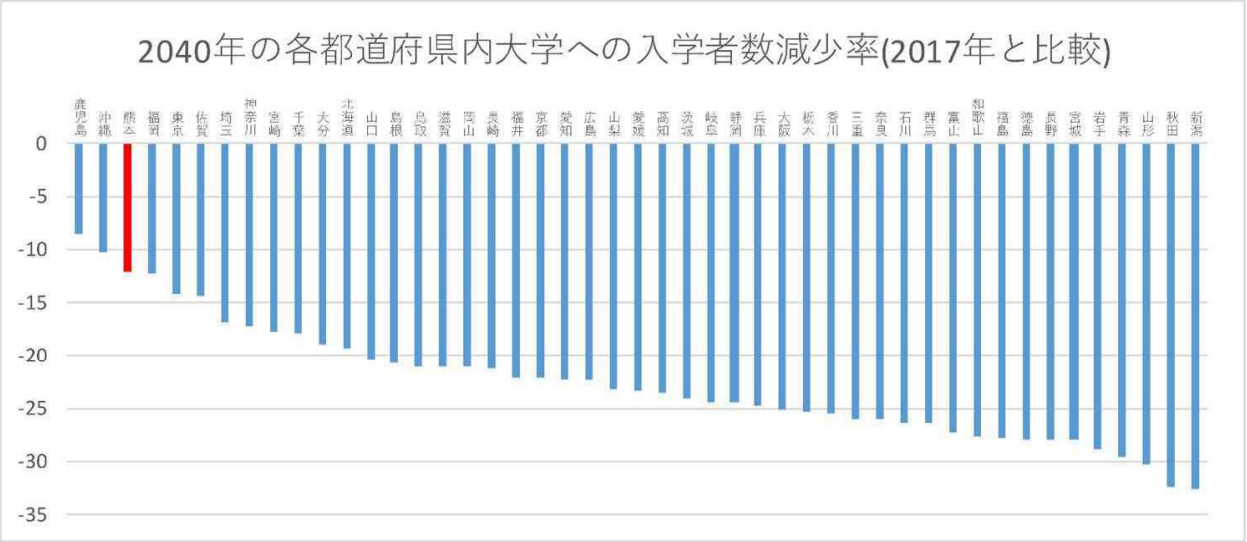
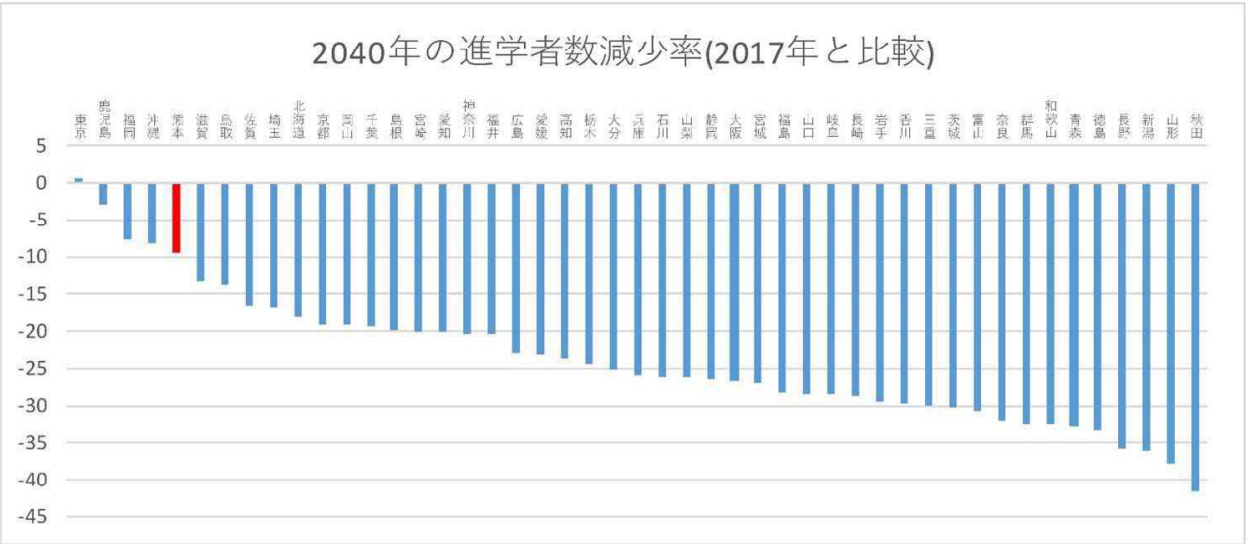
出典：本学入試データより作成



### 熊本大学学部入学定員充足状況

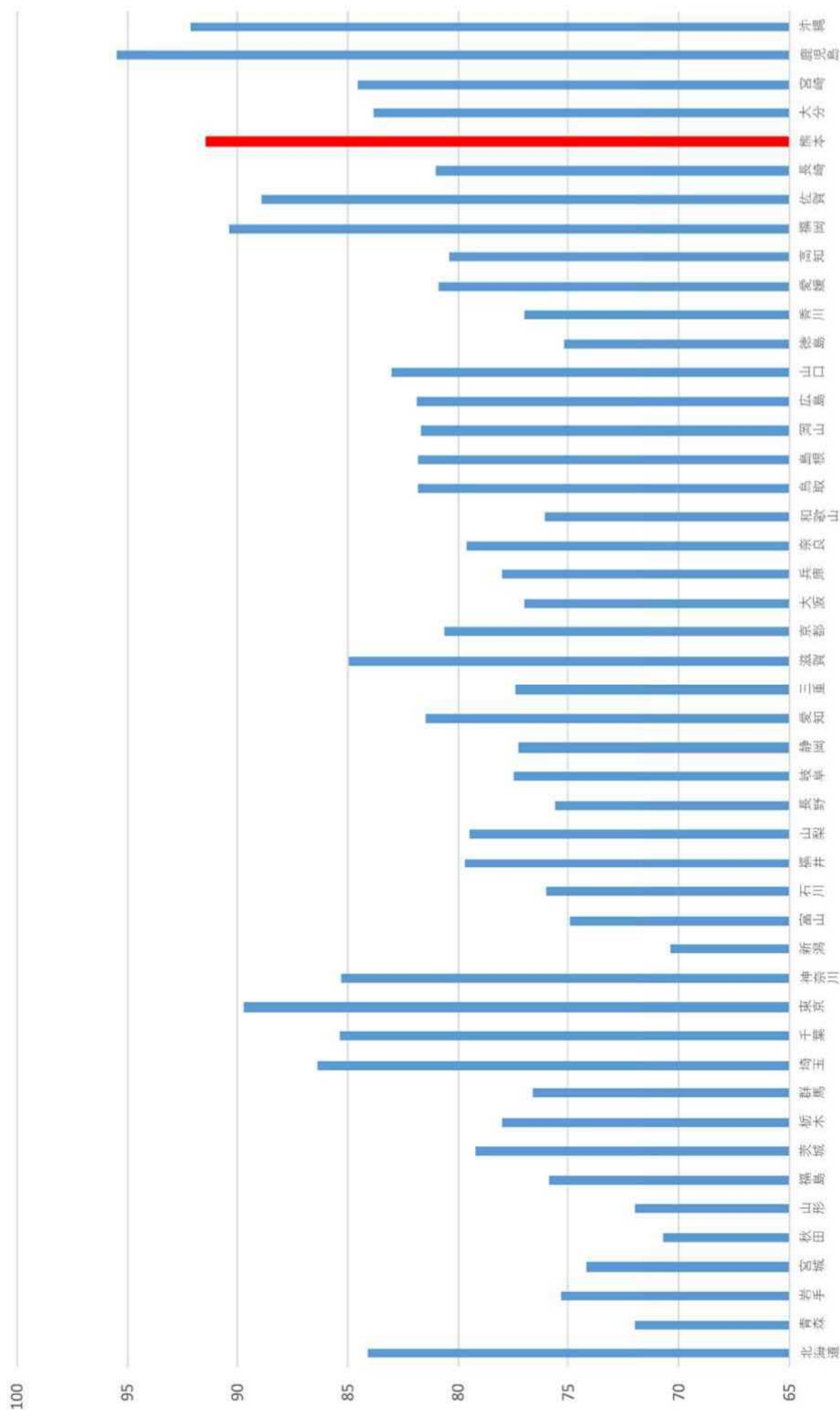


出典：文部科学省調査「国立大学の学部における定員超過抑制に係る入学者及びび在学者について」を基に作成



出典：平成30年2月21日中央教育審議会大学分科会将来構想部会（第13回）資料を基に作成

## 2040年の入学定員充足率(各都道府県の国立大学の平均を比較)



出典：平成30年2月21日中央教育審議会大学分科会将来構想部会（第13回）資料を基に作成

## 長崎大学 情報データ科学部の入学志願状況等（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年平均	入学定員に対する 志願者数の比率
入学定員	110	110	110	110	
志願者数	377	254	381	337	3.1
受験者数	268	162	278	236	
合格者数	120	119	124	121	
入学者数	116	111	113	113	
定員充足率	105%	101%	103%	103%	

## 広島大学 情報科学部の入学志願状況等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年平均	入学定員に対する 志願者数の比率
入学定員	80	80	80	80	
志願者数	243	280	252	258	3.2
受験者数	210	229	207	215	
合格者数	88	90	88	89	
入学者数	87	83	85	85	
定員充足率	109%	104%	106%	106%	

## 和歌山大学 社会インフォマティクス学環の入学志願状況等

			令和5年度	3年平均	入学定員に対する 志願者数の比率
入学定員			30	30	
志願者数			148	148	4.9
受験者数			133	133	
合格者数			44	44	
入学者数			41	41	
定員充足率			137%	137%	

出典：各大学HP

国立大学法人熊本大学 御中

## 一部抜粋

# 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関する アンケート調査結果報告書 【企業・団体向け調査】

2023年1月31日

株式会社日経BPコンサルティング

# 1. 目次

---

1. 目次	.....	1
2. 調査概要	.....	2
3. 調査項目	.....	3
4. 報告書の記載について	.....	4
5. 調査結果のまとめ	.....	5
6. 調査結果データ	.....	14
調査回答企業・団体属性	.....	15
新教育組織設置の必要性【情報融合学環(仮称)】	.....	19
新教育組織設置の必要性【半導体デバイス工学課程(仮称)】	.....	21
新教育組織への興味度【情報融合学環(仮称)】	.....	23
新教育組織への興味度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	.....	25
新教育組織・コース特徴への魅力度【情報融合学環(仮称)】	.....	27
新教育組織の特徴への魅力度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	.....	40
採用意向／採用希望人数	.....	49
付. 巻末資料	.....	57

## 2. 調査概要

---

### ■ 調査目的

熊本大学に設置予定の新教育組織(【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】)に対する企業・団体の評価や採用意向を把握し、新教育組織卒業生採用受入先の実態を示す客観的根拠データとする。

### ■ 調査手法

郵送留置き法(Web回答を併用)  
※事前架電により調査実施告知を行い、送付先を確認した。

### ■ 調査対象

全国の企業・団体

### ■ 協力依頼数

931件

### ■ 有効回答数

322件 ※郵送回収とWeb回答の重複を除く  
(回収率:34.6%)

### ■ 調査期間

2022年11月30日～2022年12月23日

### ■ 調査実施・運営機関

株式会社日経BPコンサルティング 大学ブランド・デザインセンター

### 3. 調査項目

#### 質問項目一覧

企業・団体属性			
No,	質問項目	回答方式	回答者
1	業種	単一回答	全員
2	従業員・職員数	単一回答	全員

新卒採用について			
3	今年度（2022年度）の新卒採用人数	単一回答	全員
4	来年度（2023年度）の新卒採用計画	単一回答	全員
5	求める学生の学問系統	複数回答	全員
6	求める学生の資質	複数回答	進学希望者

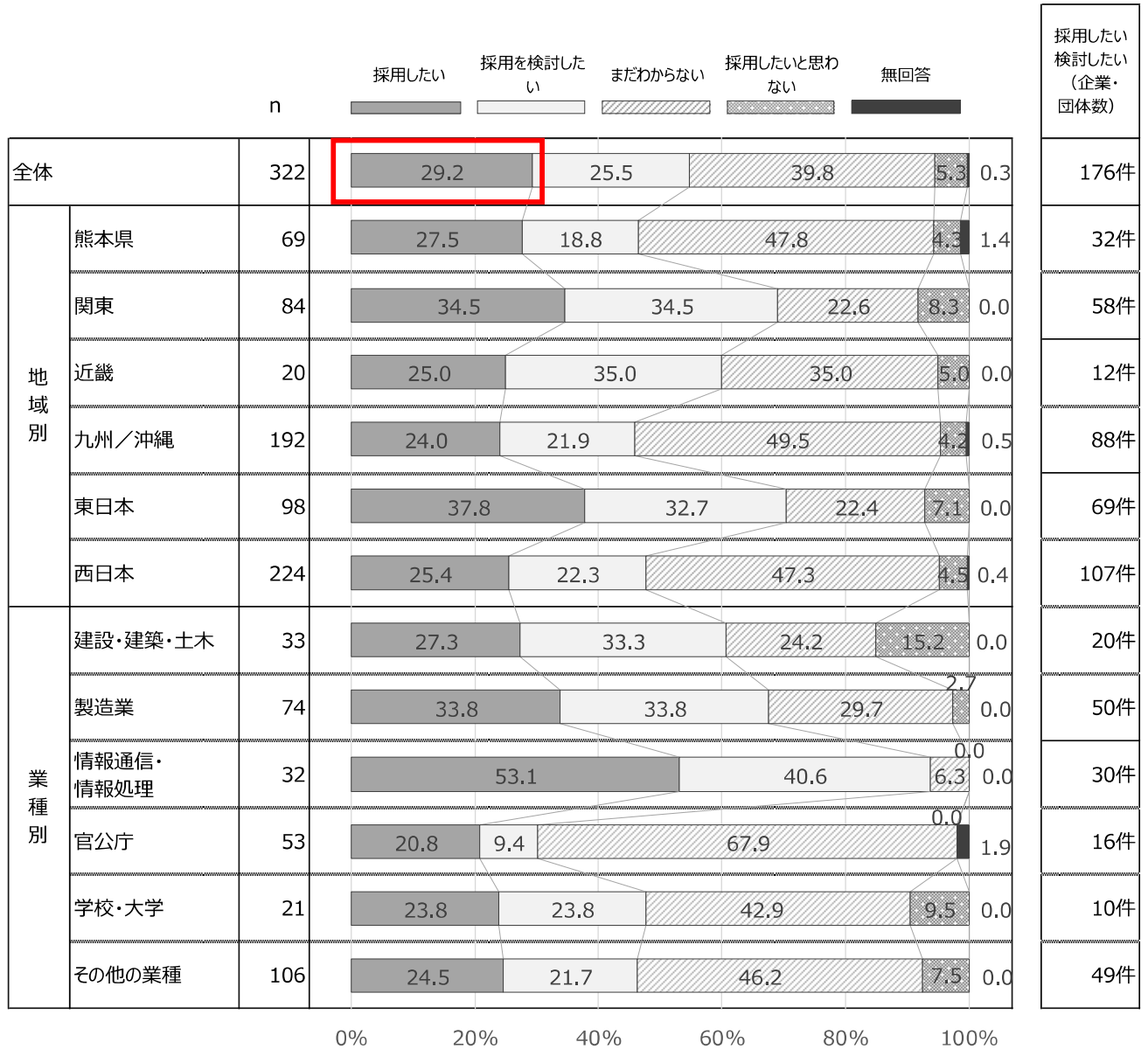
新教育組織（学環・課程）について			
7	新教育組織の社会的必要性〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
8	新教育組織への興味度〈4段階〉※資料閲覧後	単一回答 （表形式）	全員
9	情報融合学環・コースの特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
10	半導体デバイス工学課程の特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
11	新教育組織卒業生採用意向（コース・課程） 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
12	新教育組織卒業生採用希望人数	数値記入	採用意向者



# 採用意向【DS総合コース(仮称)】 ①

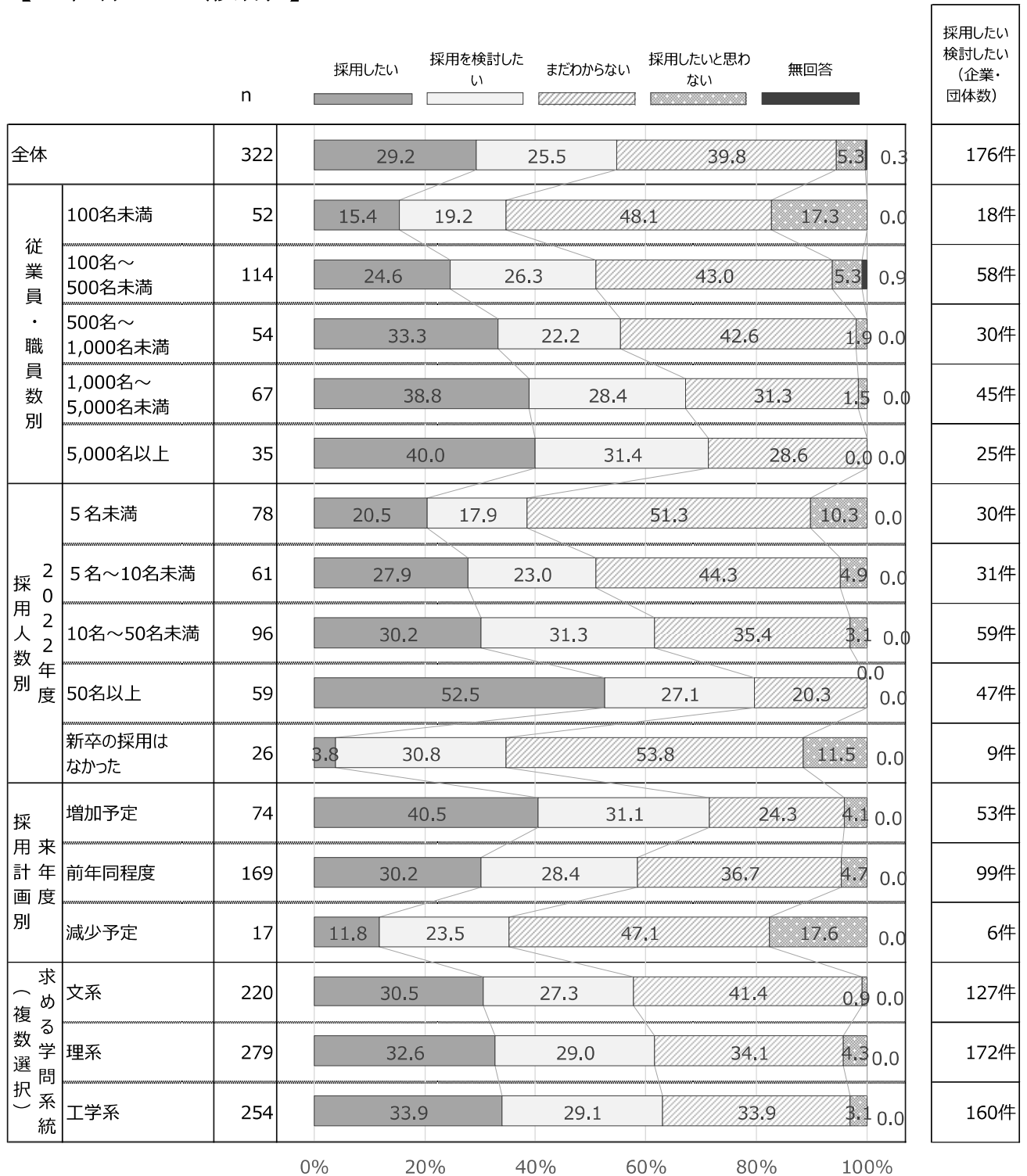
問11. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(それぞれひとつだけ)

## 【DS総合コース(仮称)】



# 採用意向【DS総合コース(仮称)】 ②

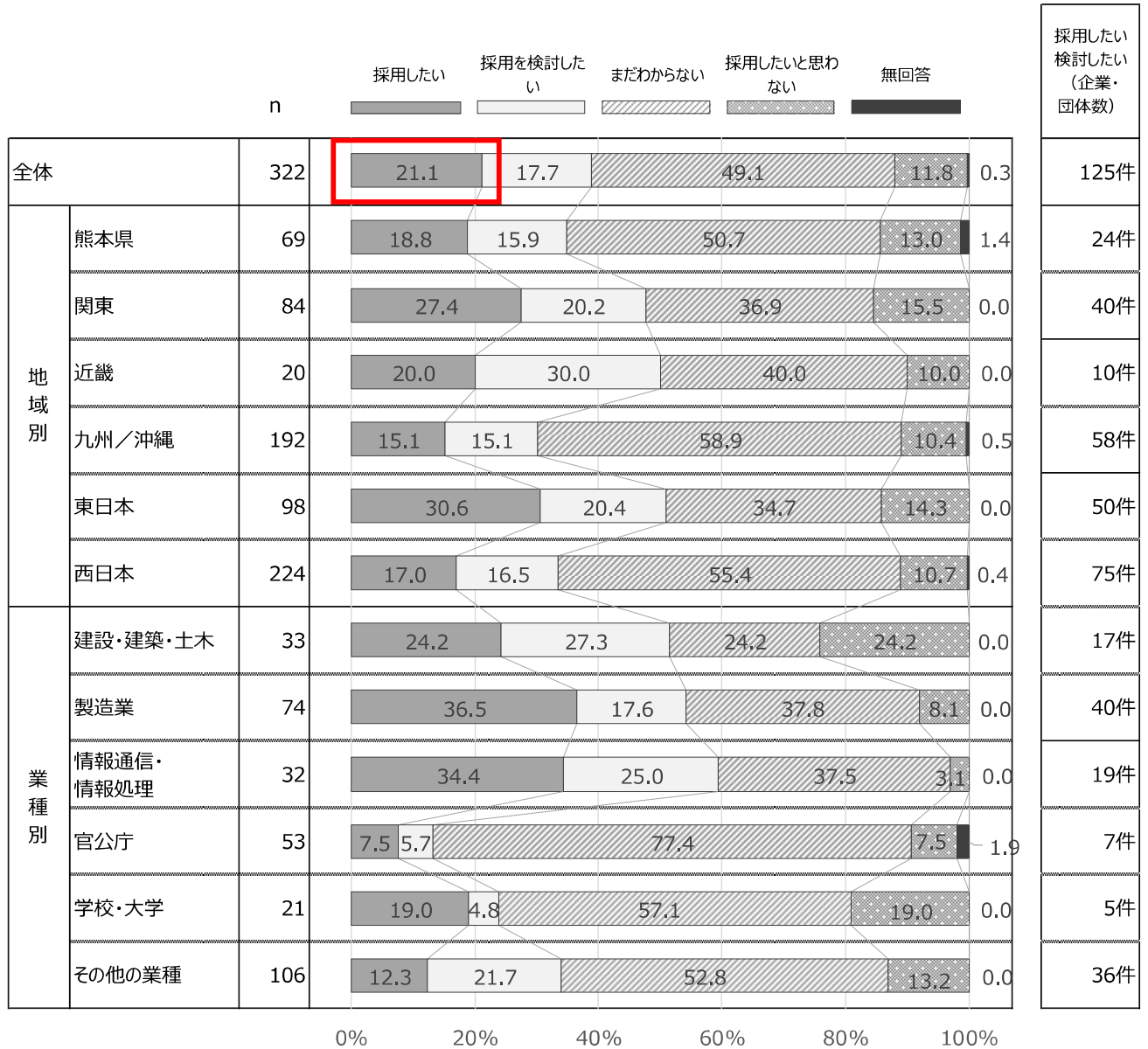
## 【DS総合コース(仮称)】



## 採用意向【DS半導体コース(仮称)】①

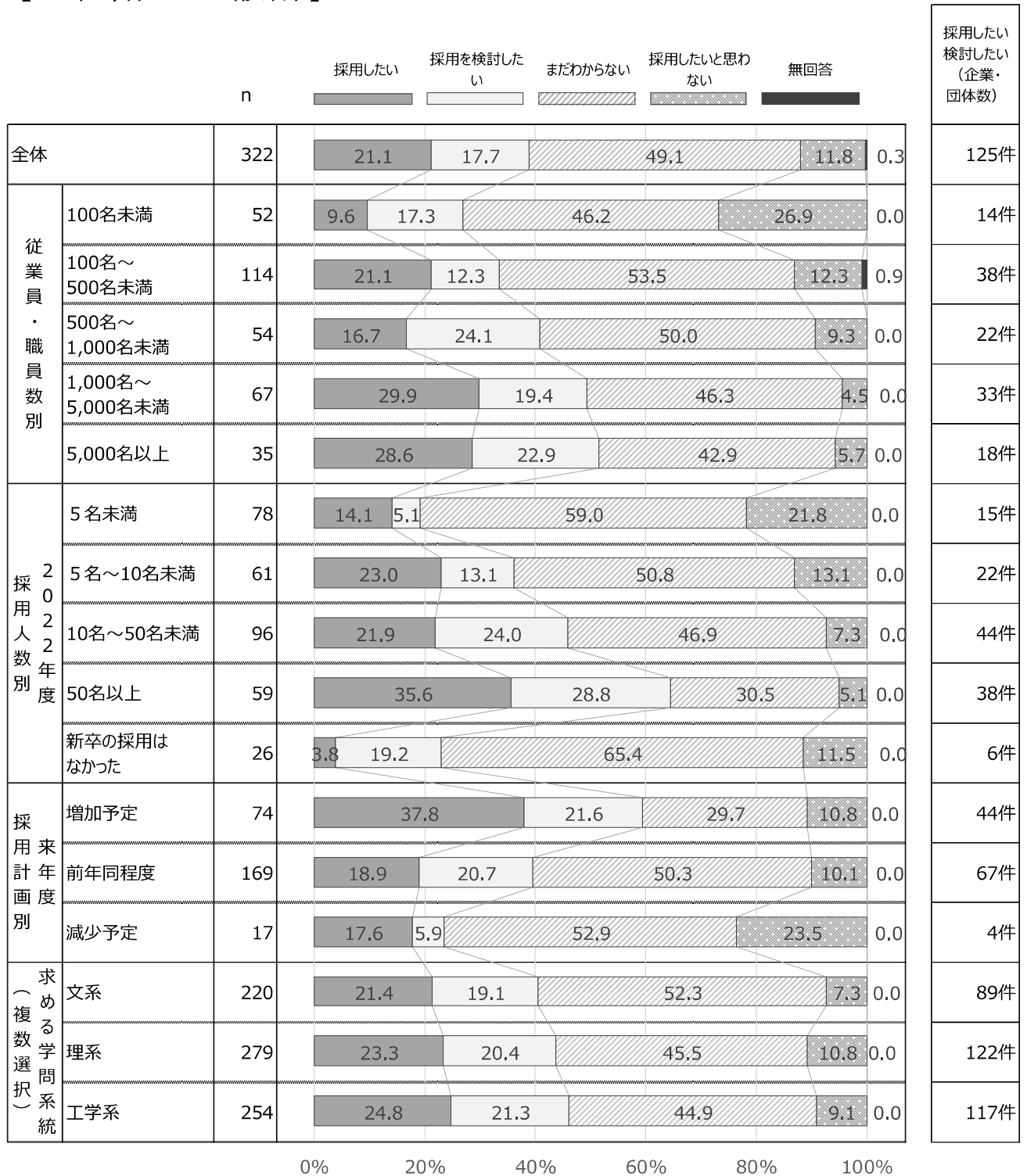
問11. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(それぞれひとつだけ)

### 【DS半導体コース(仮称)】



# 採用意向【DS半導体コース(仮称)】②

## 【DS半導体コース(仮称)】



## 付. 卷末資料

---

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

< 32283268C > 熊本大学の新教育組織設置に関するアンケート調査

### 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査 【調査票】

#### 【回答方法】

本アンケートは、当紙面での回答またはパソコンなどから Web 回答が可能です。  
回答については1社につき1回とさせていただきます。紙面または Web どちらかをお選びいただき、回答が重複しないようお願い致します。

#### 【Web 回答について】

Web でご回答いただく場合は、下記の URL からアクセスいただき、回答 ID をご入力ください。

<https://nkbp.jp/kumadai>

回答 ID 【            】

※回答については1社・団体につき1回となりますので、紙面または Web どちらかをお選びいただき、回答が重複しないようお願い致します。

#### 【回答期限】

誠に勝手ながら、**12月16日(金)**までにご回答いただけますようお願い致します。

#### 【ご回答について】

本アンケートの回答については、質問文(問)をお読みいただき、該当する選択肢の番号に○をご記入いただくか、指定の枠内に記述をお願い致します。

アンケートで得た回答については、統計的に処理を行い、個別の企業・団体名や個人を特定することはありませんのでご安心ください。

■貴社・貴団体についておうかがいします。

問1. 主な業種をお選びください。(○はひとつ)

- |                 |                    |                     |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| 1. 農業・林業・漁業・畜産  | 10. 製造業(電子部品・デバイス) | 19. 飲食              |
| 2. 建設・建築・土木     | 11. 製造業(精密機器)      | 20. 宿泊              |
| 3. 製造業(食品・飲料)   | 12. 製造業(郵送機器)      | 21. 教育・研究           |
| 4. 製造業(繊維・衣料品)  | 13. その他の製造業        | 22. 医療・福祉           |
| 5. 製造業(木材・家具)   | 14. 電気・ガス・水道       | 23. 情報処理サービス        |
| 6. 製造業(紙・印刷)    | 15. 情報通信           | 24. エンターテインメント・広告   |
| 7. 製造業(化学・石油製品) | 16. 運輸・輸送・物流       | 25. 専門サービス(弁護士、会計士) |
| 8. 製造業(機械・電気機械) | 17. 卸売・小売          | 26. その他の業種          |
| 9. 製造業(情報通信機器)  | 18. 金融・保険・不動産      |                     |

1

32283268C\_ 熊本大学の新教育組織設置\_企業\_調査票\_B

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問2. 従業員・職員数をお知らせください。(ひとつだけ)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 50名未満       | 4. 500名～1,000名未満   |
| 2. 50名～100名未満  | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 3. 100名～500名未満 | 6. 5,000名以上        |

問3. 今年度(2022年度)の大学・大学院卒業生の新卒採用人数をお知らせください。(ひとつだけ)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 5名未満       | 5. 100名～300名未満 |
| 2. 5名～10名未満   | 6. 300名～500名未満 |
| 3. 10名～50名未満  | 7. 500名以上      |
| 4. 50名～100名未満 | 8. 新卒の採用はなかった  |

■貴社・貴団体の新卒の採用計画についておうかがいします。

問4. 来年度(2023年度)の大学・大学院卒業生の採用計画をお知らせください。(ひとつだけ)

- |          |               |          |            |
|----------|---------------|----------|------------|
| 1. 増加の予定 | 2. 前年度と同程度の予定 | 3. 減少の予定 | 4. まだわからない |
|----------|---------------|----------|------------|

問5. 貴社・貴団体が求める学生の学問系統をお知らせください。(いくつでも)

- |             |                  |                |
|-------------|------------------|----------------|
| 1. 文学・語学    | 7. 看護・保健学        | 13. 情報工学       |
| 2. 法・政治学    | 8. 医・歯・薬学        | 14. 建築・土木・環境工学 |
| 3. 経済・経営・商学 | 9. 数学・物理学        | 15. 素材・材料工学    |
| 4. 社会・社会科学  | 10. 化学・生物学       | 16. 工芸・工業デザイン  |
| 5. 国際関係学    | 11. 情報科学         | 17. 農・水産学      |
| 6. 教育学      | 12. 機械・電機・電子通信工学 | 18. その他        |

問6. 貴社・貴団体が求める学生の資質をお知らせください。(いくつでも)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 個性的である      | 9. 語学に長けている        |
| 2. 勉強・研究に熱心である | 10. 存在感がある         |
| 3. 自己主張ができる    | 11. 創造力がある         |
| 4. リーダーシップがある  | 12. 問題解決能力が高い      |
| 5. 集中力がある      | 13. 高い専門性がある       |
| 6. 精神的にタフである   | 14. 面白みがある         |
| 7. 礼儀正しい、上品である | 15. コミュニケーション能力が高い |
| 8. 基礎学力が高い     | 16. その他            |

■熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環(仮称)」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程(仮称)」についておうかがいします。 ※同封の資料をご覧にいただき、質問にご回答ください。

問7. 熊本大学では、学部相当の新教育組織として「情報融合学環(仮称)」と工学部内に「半導体デバイス工学課程(仮称)」の設置を計画しています。これからの社会に、このような新教育組織(学士課程)の設置はどの程度必要だと思いますか。(ひとつだけ)

	必要だと思う	まあ必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない
情報融合学環(仮称)	1	2	3	4
工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)	1	2	3	4

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 8. 資料をご覧いただき、貴社・貴団体として、新学部相当組織「情報融合学環 (仮称)」と工学部「半  
 導体デバイス工学課程 (仮称)」にどの程度興味がありますか。(ひとつだけ)

	興味がある	まあ興味がある	あまり興味はない	興味はない
情報融合学環 (仮称)	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程 (仮称)	1	2	3	4

問 9. 熊本大学の「情報融合学環 (仮称)」では、「DS (データサイエンス) 総合コース (仮称)」[DS (データサイエンス) 半導体コース (仮称)]の2つのコースを設置する計画です。「情報融合学環 (仮称)」とそれぞれのコースの特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

	魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
<b>■「情報融合学環 (仮称)」の特徴について</b>				
A データサイエンス・DXスキル教育： Society5.0に対応するために必要不可欠なデータサイエンスを含めた情報通信・AIに関連する基礎的な知識とデータを活用するためのスキル修得のためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
B 実践的な英語教育： 実践的な英語によるコミュニケーション能力を育むためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
C 中学校・高等学校の教員免許状： 選択により中学校教諭・高等学校教諭「数学」、高等学校教諭「情報」の免許を取得できるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
D 文理融合教育・他大学と連携した授業科目： 法学部等の文系学部の科目に加え、熊本大学にはない経営学や農学等に関わる科目を熊本県立大学、東海大学の開講科目から選択できます。データサイエンスを軸とした様々な専門分野を学ぶことができます。	1	2	3	4

**■「DS総合コース (仮称)」の特徴について** \*PEL = Project Based Learning: 地域課題解決等を通じた探究的を学ぶの手法

E 地域課題 PBL*： 企業や自治体等の実務家教員が担当する科目を履修し、実際のデータを使って、データサイエンススキル等を活用し、社会現場から課題を見つけ出す課題発見力や、分析の結果を現場に浸透させて改善する社会実装力を学びます。	1	2	3	4
--	---	---	---	---

**■「DS半導体コース (仮称)」の特徴について**

F データサイエンスの観点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目： 産総研開発環境の標準的なソフトウェア環境や、実際の半導体製造プロセスを模した実験実習科目等を含めた実践力を養育する教育プログラムです。	1	2	3	4
--	---	---	---	---

問 10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程 (仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体  
 デバイス工学課程 (仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

	魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
<b>■工学部「半導体デバイス工学課程 (仮称)」の特徴について</b>				
G 国内で最も充実した半導体教育カリキュラム： 半導体工学の基礎となる数学/物理/化学/材料/機械などの基礎学問を学修した上で半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術等の高度な専門的能力を身につけることができるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
H 日本初の半導体教育に特化した学士課程	1	2	3	4
I 半導体関連企業でのインターンシップ： 熊本県産の半導体関連企業・半導体製造関連 (関連製造) 企業でのインターンシップ等を実施し、実践力を培います。	1	2	3	4
J 半導体関連 PBL 教育・生産設備を附いた実習： 産業界のニーズに対応した実践的教育として、企業技術者 (実務家教員) による PBL 教育や企業での実際の生産設備を用いた実習を取り入れた教育プログラムです。	1	2	3	4



## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 11. 熊本大学に「情報融合学環（仮称）」(「DS 総合コース（仮称）」「DS 半導体コース（仮称）」)と、工学部内に「半導体デバイス工学課程（仮称）」が設置された場合、貴社・貴団体では、当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(それぞれひとつだけ)

	採用したい	採用を検討したい	まだわからない	採用したいと思わない
DS 総合コース（仮称）	1	2	3	4
DS 半導体コース（仮称）	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）	1	2	3	4

【前問で、「採用したい」「採用を検討したい」と回答された方におうかがいします。】

問 12. 熊本大学に「情報融合学環（仮称）」(「DS 総合コース（仮称）」「DS 半導体コース（仮称）」)と、工学部内に「半導体デバイス工学課程（仮称）」が設置された場合、貴社・貴団体では、当学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(数値を記入)

※採用人数が想定できない場合は、「未定」とご記入ください。

DS 総合コース（仮称）	名程度
DS 半導体コース（仮称）	名程度
工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）	名程度

最後に、貴社・貴団体の情報と、本調査にご回答いただいた方の情報をお知らせください。

企業・団体名	
ご住所	
本社・本部所在地 (都道府県)	[ ] 都・道・府・県 ・ 海外

以下は、当アンケートにご回答いただいた方についてお知らせください。

ご担当者名 (ご回答者名)	
部署名	
新卒採用への関わり (〇はいくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> <li>採用に関する決裁権がある</li> <li>採用活動に関与している</li> <li>直接関与はないが、採用に関する意見・要望を出せる</li> </ol>

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございます。

# 同封資料

## 同封資料①

**令和6年4月**

**創設** 入学定員50名

挑む、デジタルの最先端へ

紡ぐ、半導体産業の未来を

文理融合型で学ぶ

**DS 総合コース (仮称)**  
Data Science General course  
コース配属人数(1年次から):40名\*

**DS 半導体コース (仮称)**  
Data Science Semiconductor course  
コース配属人数(1年次から):20名\*

文理解合型で学ぶ

データサイエンスを基盤とした文理融合型の学び

実践的かつ専門的な半導体関連コースと幅広く学べる総合コース

地域社会および国内外の研究機関や企業との立体的な連携

Feature

https://www.kumamoto-u.ac.jp/

School of Informatics

情報融合学環で身に付く力

**DS総合コース(仮称)**  
Data Science General course

人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを総合的に学ぶことで、社会の幅広い応用課題に対応できる力が身に付く

**DS半導体コース(仮称)**  
Data Science Semiconductor course

基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体を含む製造分野の課題に対応できる力が身に付く

実践的な英語科目、プレゼンテーション、アントレプレナーシップ、文理融合科目を学ぶことで、国際社会で活躍できる力が身に付く

取得可能な資格: 甲種学校教員一種免許(教諭)、高等学校教員一種免許(教諭)、甲種IT(情報学)

取得可能な資格: 甲種学校教員一種免許(教諭)、高等学校教員一種免許(教諭)、甲種IT(情報学)

修められる学位: 金融経済、情報通信(IT法)、製造系、流通サービス、教育関連系、地方産業系、学校教員

修められる学位: IT(工学)、流通サービス、地方産業系、学校教員

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
DS半導体コース(仮称)			半導体関連科目	
DS総合コース(仮称)			学際融合科目 (英語、データサイエンス/人間関係科目)	
			情報科学関連科目	
			社会科学関連科目	

※各コースの関連科目は緑色で示されています

入試日程

	入学希望者受付期間	学生募集情報公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜後期日程	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜II (大学入学共通テスト併行)				令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)

※入学希望者受付期間は、入学希望者募集要項を参照してください

熊本大学 熊本大学 新教育組織(学士課程) 設置準備室  
TEL: 096-342-2031  
https://www.kumamoto-u.ac.jp/

## 同封資料②

**令和6年4月**

**創設** 入学定員:20名

くまもとから世界へ半導体の未来を切り拓く

**工学部 半導体デバイス工学課程 (仮称)**

半導体教育に特化したカリキュラム

Point 1 半導体工学の基礎を学んだ上で、半導体デバイスプロセスや半導体材料に関する知識、デバイス開発技術などの高度な専門性を高める

Point 2 設備は、最先端の半導体研究を行っている産院に似、企業の一線で活躍中の研究者が指導や授業を行う。インターンシップなど、企業との連携による実践的な科目が豊富

Point 3 社会的要請の強い半導体関連分野において、世界で活躍するための高度な知識とコミュニケーション能力を養えるプログラムを用意

https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/

Faculty of Engineering

工学部 半導体デバイス工学課程の強み

教育の概要

半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する総合力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な、物理・化学・電子・材料・異種公との基礎知識と応用スキルを習得し、最先端の半導体デバイスを開発・製造できる人材を育成する

育成する人材

半導体デバイス製造の前工程から後工程に至る製造過程における基礎的な専門知識を備え、半導体デバイスの製造・評価・開発に関わる人材へ

・大規模集積回路(LSI)設計設計/システム設計エンジニア  
・半導体デバイスプロセスエンジニア など

入試

1年次入学(仮称) 特別選抜及び一般選抜の実施を検討中

入試日程

	入学希望者受付期間	学生募集情報公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
学校推薦型選抜II (大学入学共通テスト併行)	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年2月(予定)	令和6年3月下旬(予定)

熊本大学 熊本大学 自然科学系事務課 工学部教務担当  
TEL: 096-342-3522  
https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/

## 同封資料③

令和6年  
4月

# Change & Charge

熊本大学

紡ぐ、半導体産業の未来を  
挑む、デジタルの最先端へ

くまもとから世界へ  
半導体の未来を切り拓く

文理融合の学部連携組織

## 情報融合 学環 (仮称)

入学定員: 60名

文理融合、実践的教育、  
学内連携、地域連携、  
大学間連携によるDX、  
勤理・データサイエンス人材を  
育成します

DS総合コース(仮称) コース編入(2024年度)140名\*  
人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを統合的に学ぶことで、社会の幅広いDX課題に対応できる力を育成

DS半導体コース(仮称) コース編入(2024年度)120名\*  
基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体をまわす製造DX課題に対応できる力を育成

\*1:令和6年度課程改編に伴い、  
2:令和6年度編入コース枠を定めます。

工学部4学科横断の新組織

## 工学部 半導体デバイス 工学課程 (仮称)

入学定員: 30名

半導体デバイスの製造過程に  
おける基礎的専門知識を備え、  
半導体デバイスの  
製造・評価・開発に携われる  
人材を育成します

半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する俯瞰力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な基礎学習・「工学リベラルアーツ」の修習を重視したカリキュラムを実施。さらに、地元半導体企業と連携して実務家教員を雇用し、OJT/FBL教育を積極的に取り入れた教育プログラムを実施

将来の道

データサイエンティスト
半導体関連エンジニア

※「情報融合学環(仮称)」及び「工学部半導体デバイス工学課程(仮称)工学課程」については、文理融合型で工学部・半導体工学部が協働して運営を担う予定です。詳細は募集要項によって異なります。

**熊本大学**  
Kumamoto University

https://www.kumamoto-u.ac.jp/